

平成 24 年度 第 2 回東海・北陸地区代表者懇談会 議事録

日時：平成 24 年 9 月 13 日（木） 16：30－18：15

場所：金太郎温泉 光風閣別館 135－137 室

参加者：石田チハル（岐阜県）、加藤和子（石川県）、岩田勝子（愛知県）、林静子（地区理事）、加藤峰子（三重県）、川端起代美（福井県）、岡本喜代子（会長）、島田真理恵（本部総務） 水井雅子（富山県） 敬称略、順不同

司会進行・書記（水井）

## 議題

### 1. 会長、本部役員島田氏からの報告

・岡本会長から・・・10 月 1 日から公益社団法人化が決まりました。

・島田氏からの報告説明

### ※助産業務ガイドラインについて経過報告

・今まで助産所ガイドラインの活用はあったが、

院内助産院が増えてきた背景を受けて、「助産所」から「助産」共通とした。分娩を中心にした助産業務ガイドライン都市、助産所業務に加え施設における院内助産にも適用できる助産業務について検討する。

平成 25 年度作成を目指す。委員長 池ノ上 克先生、副委員長 岡本喜代子、島田真理恵氏ほか委員 14 名

他団体ガイドラインを参考に妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期のグループに分ける過去助産所ガイドラインの活用していた助産院の協力から

アンケート内容を作成

嘱託医、嘱託機関へのアンケートは助産所から本部に連絡し、

本部から 該当嘱託医、嘱託機関にアンケート送付 本年度嘱託契約がスムーズに行われているところだけでよい。

来年 1 月をめどに、会員に案を提出

### ※IT 化に関して

会員間の情報共有と共に助産師の情報を社会で共有する意味も含む

個人情報管理は各助産所で管理

当初開始予定の 10 月より遅れる可能性があり

年間維持費について 月額 500 円についてご理解ご協力を

（加藤和）会員への情報共有は十分なのか

分娩中止の嘱託医も増える中、登録の意思表示に迷いを感じる会員もいる

（岡本）機関紙に掲載

（加藤和）石川県で院内助産、助産師外来事業につき 180 万予算がついた。

『助産外来システム』という呼び名で「師」が入っていない

行政は看護協会からの情報を参考に企画するが、残念に思う。

できるだけ早くにガイドライン作成を望む⇒2年はかかるが進行中

## 2. 第3回理事会報告（林静子地区理事より）（別紙参照）

※助産所ガイドラインについてアンケート送付宛

助産院の方で嘱託医の内諾が得られたのちに、本部からダイレクトに郵送。

※専門部会委員推薦

各部会委員を1名ずつ選出 10月31日まで

最低2期は続けられるように、できれば4年 2期

・勤務部会 岐阜 保木幸子さん

・保健指導部会 井岡智子さん⇒変更 石川・富山で候補者選出

（福井の会員状況30-40代が8割、子育て中にて家を空けることが困難）

・助産所部会 愛知 岩本美佐子さん

年間活動状況 年5回の集まり（内研修会3回、総会終了後）

交通費経費として出るが、宿泊費は自費

三重県 保険について 開業している助産院では家を空けられない

提案事項：

・助産院院長不在の際にも補償が効くような短期保険システムをつくって欲しい（海外旅行の掛け捨て保険などを参考に）

・会員個人の活動を会として把握できるように依頼されるとき会へも依頼文を出してもらうようにする。

## 3. 名誉会員（80歳以上）の推薦について

石川なし、福井なし、岐阜なし、三重なし、富山なし

## 4. 次回の予定

※11月20日（火）第1回都道府県助産師会代表者会議 14:00-17:00

本部会館 東京 交通費自前

※2月24日（日）第3回地区代表者懇談会 13:00～ 富山担当

（サンフォルテ予定 <http://www.sunforte.or.jp/free/svFreeDtl.aspx?servno=1>）

\*代表者会議の旅費は本部に申請、本部負担

\*『助産師2月号』持参